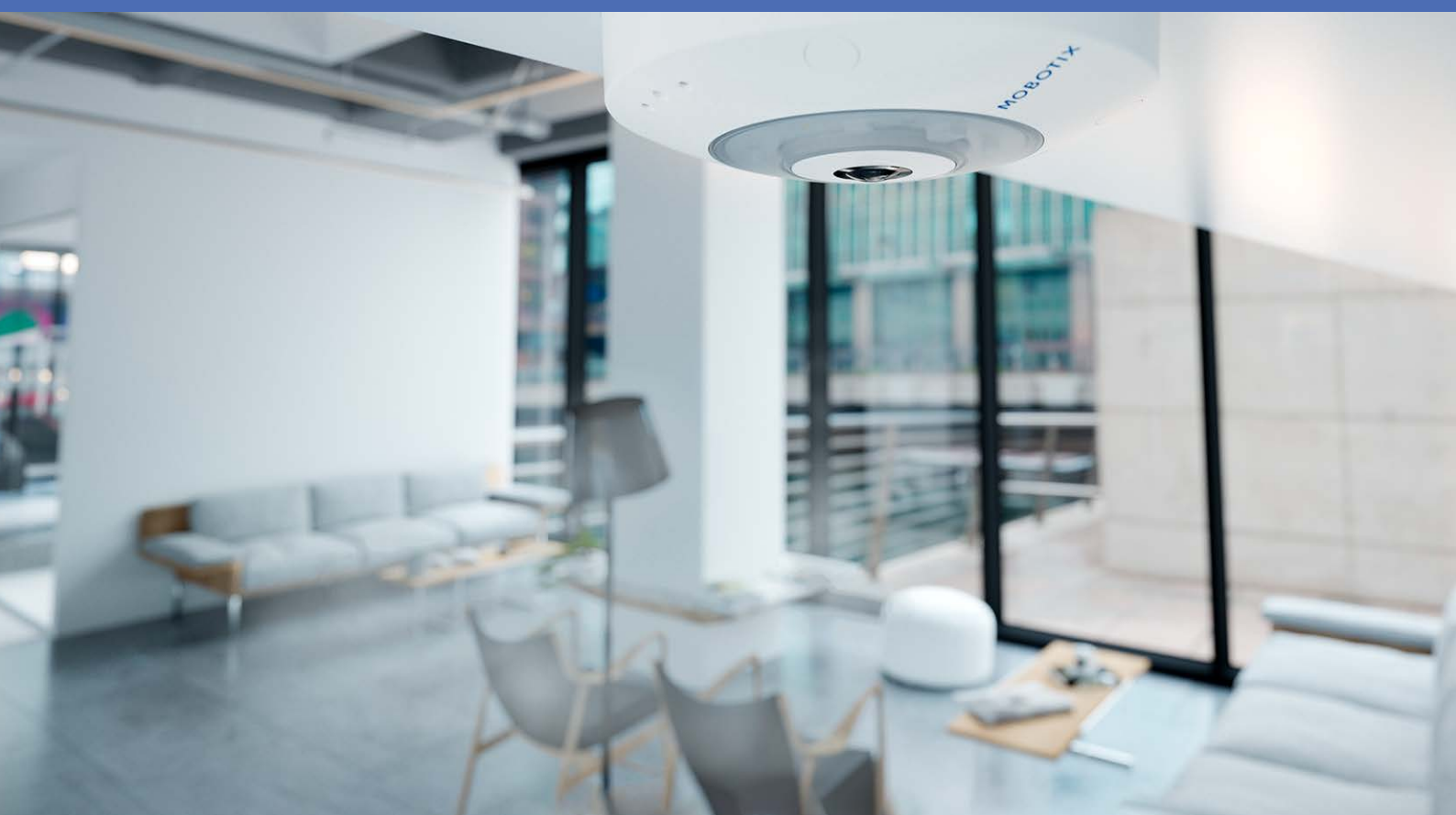


クイックインストールガイド

MOBOTIX Q71 Central Management Software

© 2021 MOBOTIX AG



目次

目次	2
はじめに	5
サポート	6
安全上の注意事項	6
法律上の注意事項	7
システムセキュリティに関する注意事項	9
ドリルテンプレート	11
ドリルテンプレート Q71	12
納入品目と寸法	17
マウント用品：納入品目	18
MOBOTIX Q71：納入品目	19
ウォールマウント：納入品目	20
Q71 - 寸法	22
技術仕様	23
マウント	28
カメラを取り付ける前に	29
保護措置	31
マウントオプション	32
カメラの取り付け（アクセサリなし）	32
ウォールマウントの設置	34
コーナーへの取り付け（コーナー／ポールマウント）	36
ポールへの取り付け（コーナー／ポールマウント）	38
カメラの接続	40
カメラとネットワークの接続	40
USB-Cデバイスの接続	41
カメラの操作	44
はじめに	45
カメラのブートオプション	45
ネットワーク設定	49
ブラウザのカメラソフトウェア	54
ブラウザでカメラのウェブサイトアクセス	55
基本設定	55
メンテナンス	57
microSDカードの交換	58

カメラのクリーニング	59
------------------	----

はじめに

このセクションでは、以下の情報を提供します。

サポート	6
安全上の注意事項	6
法律上の注意事項	7

サポート

技術サポートが必要な場合は、MOBOTIXの販売店にご連絡ください。販売店が対応できない場合は、サポート・チャンネルに連絡して、できるだけ早く回答を得られるようにしてください。

インターネットにアクセスできる場合は、MOBOTIXのヘルプデスクを開いて、追加情報やソフトウェアのアップデートを確認することができます。

こちらをご覧ください：

www.mobotix.com > [Support](#) > [Help Desk](#)



安全上の注意

- この製品は、爆発の危険性がある場所では使用しないでください。
- 電気系統や機器の設置、変更、保守は、適用される電気ガイドラインに従って、資格のある電気技術者が行うか、または資格のある電気技術者の指示と監督の下でのみ行うことができます。すべての電気接続が適切に設定されていることを確認してください。
- 本製品は必ず風通しの良い場所に設置し、通気口を塞がないようにしてください。
- 埃の多い環境での使用は避けてください。
- 筐体に湿気や水が入らないように、本製品を保護してください。
- 本製品の設置は、必ず本書に記載されている方法で行ってください。誤った取り付けをすると、製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の電池を交換しないでください。誤った種類の電池に交換すると、爆発することがあります。
- この機器は、子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- Class Iアダプターを使用する場合は、電源コードは、適切なアース接続でコンセントに接続する必要があります。
- 24時間365日稼働する警報システムの電源に関するEN 50130-4の要件に準拠するため、本製品への電源供給に無停電電源装置（UPS）を使用することを強く推奨します。
- この機器は、他のネットワークにルーティングせずに、PoEネットワークにのみ接続されます。

法律上の注意事項

特別な輸出規制

サーマル画像センサーを搭載したカメラ（以下、サーマルカメラ）は、ITAR（International Traffic in Arms Regulation）を含む米国の特別輸出規制の対象となります：

- 現在適用されている米国の輸出規制およびITARによると、赤外線イメージセンサーを搭載したカメラまたはその部品は、特別な許可を得た場合を除き、米国が禁輸している国には輸出できません。現在のところ、以下の国が該当します。ウクライナのクリミア地方、キューバ、イラン、スーダン、シリア。また、"The Denied Persons List"に記載されているすべての個人および機関にも同様の輸出禁止措置が適用されます(www.bis.doc.gov, "Policy Guidance > Lists of Parties of Concern"; <https://www.treasury.gov/resource-center/sanctions/sdn-list/pages/default.aspx> 参照)
- いかなる場合でも、カメラ本体や赤外線イメージセンサーを、核兵器、生物兵器、化学兵器の設計、開発、製造、または兵器そのものに使用してはなりません。

ビデオおよびサウンドレコーディングの法的側面

MOBOTIX製品を使用する際には、映像と音声のモニタリングに関するすべてのデータ保護規制を遵守する必要があります。国の法律やカメラの設置場所によっては、映像や音声データの記録が特別な文書の対象となったり、禁止されたりする場合があります。したがって、MOBOTIX製品のすべてのユーザは、適用されるすべての規制を熟知し、これらの法律を遵守する必要があります。MOBOTIX社は、その製品の違法な使用に対して責任を負いません。

適合性宣言

MOBOTIX社の製品は、ECおよびその他の国の適用可能な規制に従って認証されています。MOBOTIX社の製品の適合宣言書は、www.mobotix.com の[Support] > [Download Center] > [Certificates & Declarations of Conformity]でご覧いただけます。

RoHS宣言

MOBOTIX社の製品は、欧州連合の電気・電子機器における特定有害物質の使用制限（RoHS指令 2011/65/EC）に準拠しています（MOBOTIXのRoHS宣言については、www.mobotix.com、[Support] > [Download Center] > [Documentation] > [Brochures & Guides] > [Certificates] をご覧ください）。

廃棄

電気・電子製品には多くの貴重な物質が含まれています。このため、MOBOTIX製品は、すべての法的要件と規制に従って、耐用年数が終了したら廃棄することをお勧めします（または、自治体の収集センターに預けることもできます）。MOBOTIX製品は家庭ゴミとして廃棄してはいけません。製品にバッテリーが搭載されている場合は、バッテリーを個別に廃棄してください（製品にバッテリーが搭載されている場合は、対応する製品マニュアルに具体的な方法が記載されています）。

免責事項

MOBOTIX社は、不適切な使用や、マニュアルや適用される規則に従わなかったことによって生じた損害については、一切の責任を負いません。当社の一般取引条件が適用されます。一般取引条件の最新版は、当社のウェブサイトwww.mobotix.comの各ページの下部にある対応するリンクをクリックすることでダウンロードできます。

FCC免責事項

この機器は、テストの結果、FCC規則のパート15に準拠したクラスAデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。本機は、FCC規則パート15に基づくクラスAデジタル機器の制限に準拠していることがテストにより確認されています。本機は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置、使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機を住宅地で使用すると、有害な電波障害を引き起こす可能性があります。

システムセキュリティに関する注意事項

データ技術におけるセキュリティリスクからカメラを保護するために、インストール完了後に以下の対策を行うことをお勧めします。

MxManagementCenter :

- **Menu View > Wizards & Tools > Secure System:**
 - カメラの工場出荷時のパスワードを変更する : ✓
 - 暗号化されたHTTPSを有効にする : ✓
 - パブリックアクセスを無効にします : ✓
 - **ユーザー管理 (全ユーザー対象) :**
 - 複雑なパスワードを強制する : ✓
 - 非アクティブでログアウトする : 5分後

ブラウザ上のカメラのユーザーインターフェース :

- **Admin Menu > ネットワーク設定 > ウェブサーバー :**
 - MxWebを有効にします : -
 - 侵入検知を有効にする : ✓
 - 通知のしきい値 : 10
 - タイムアウト : 60分
 - IPアドレスをブロックします : ✓

この新機能の詳細については、www.mobotix.com の「Cyber Protection Guide」 ([Support] > [Download Center] > [Documentation] > [Brochures & Guides] > [Cyber Security]) をご覧ください。

ドリルテンプレート

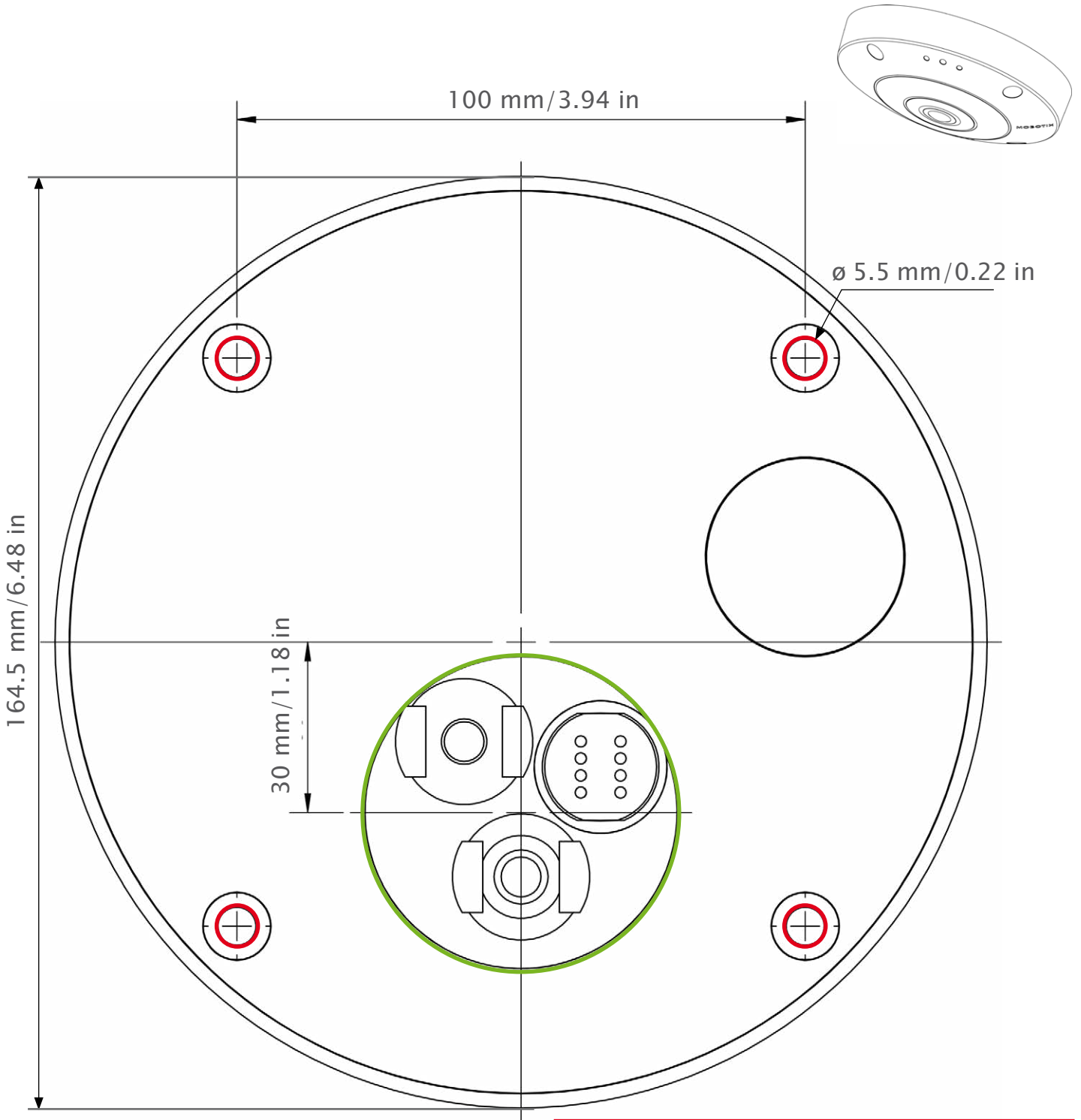
このファイルをPDFビューアー（Acrobat Reader、Foxit Readerなど）で開き、拡大縮小せずに印刷してください（オリジナルサイズ）。

NOTE

ドリルテンプレートをダウンロードしてください：www.mobotix.com > Support > Download Center > Marketing & Documentation > Drilling Templates.

注意

常にオリジナルサイズの100%でプリントやコピーをしてください。



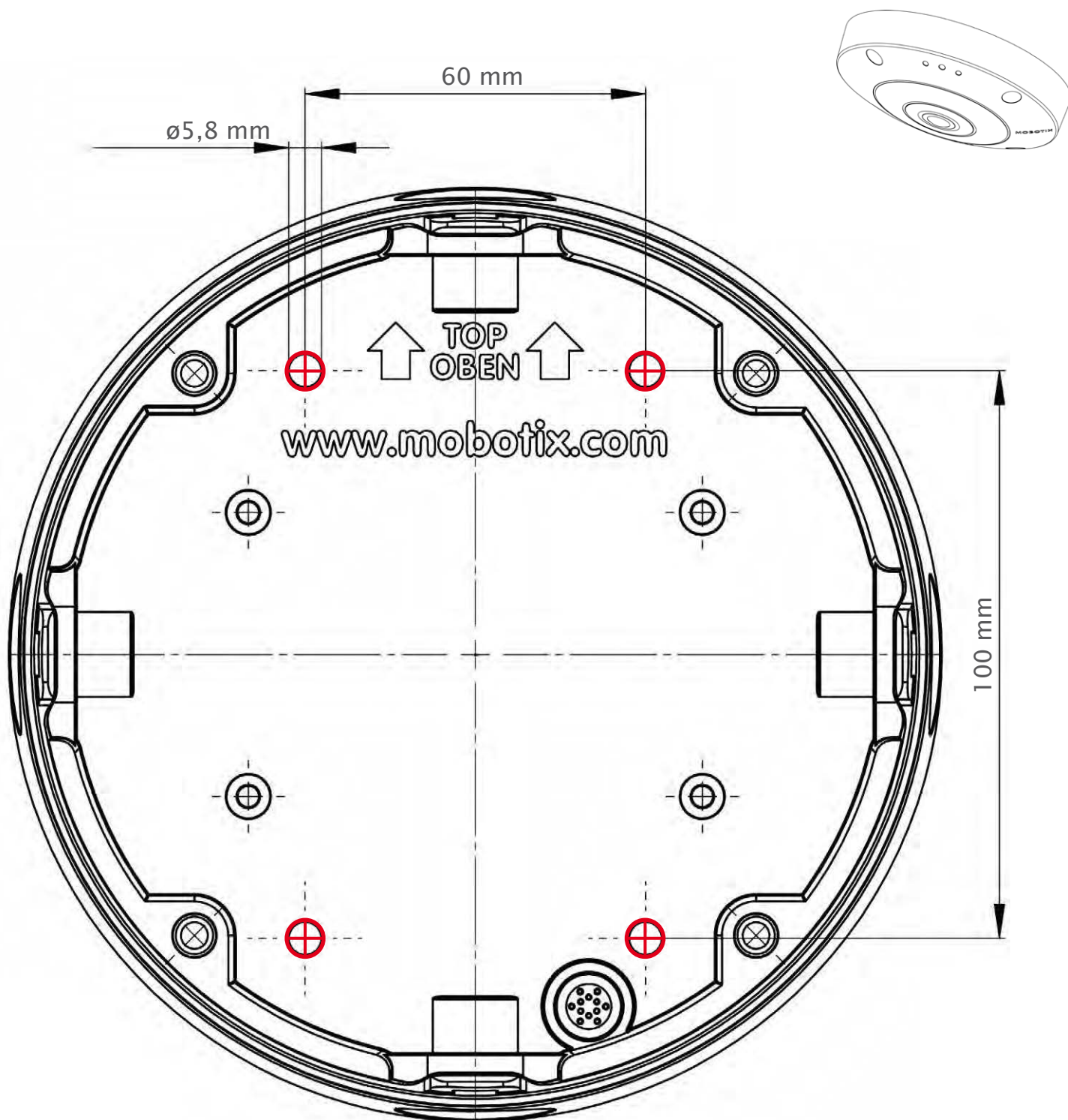
Ausschnitt für Kabel und Anschlüsse
ケーブル・コネクタ用カットアウト
Découpe pour les câbles et les connexions



Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!

コピーやプリントは、必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。

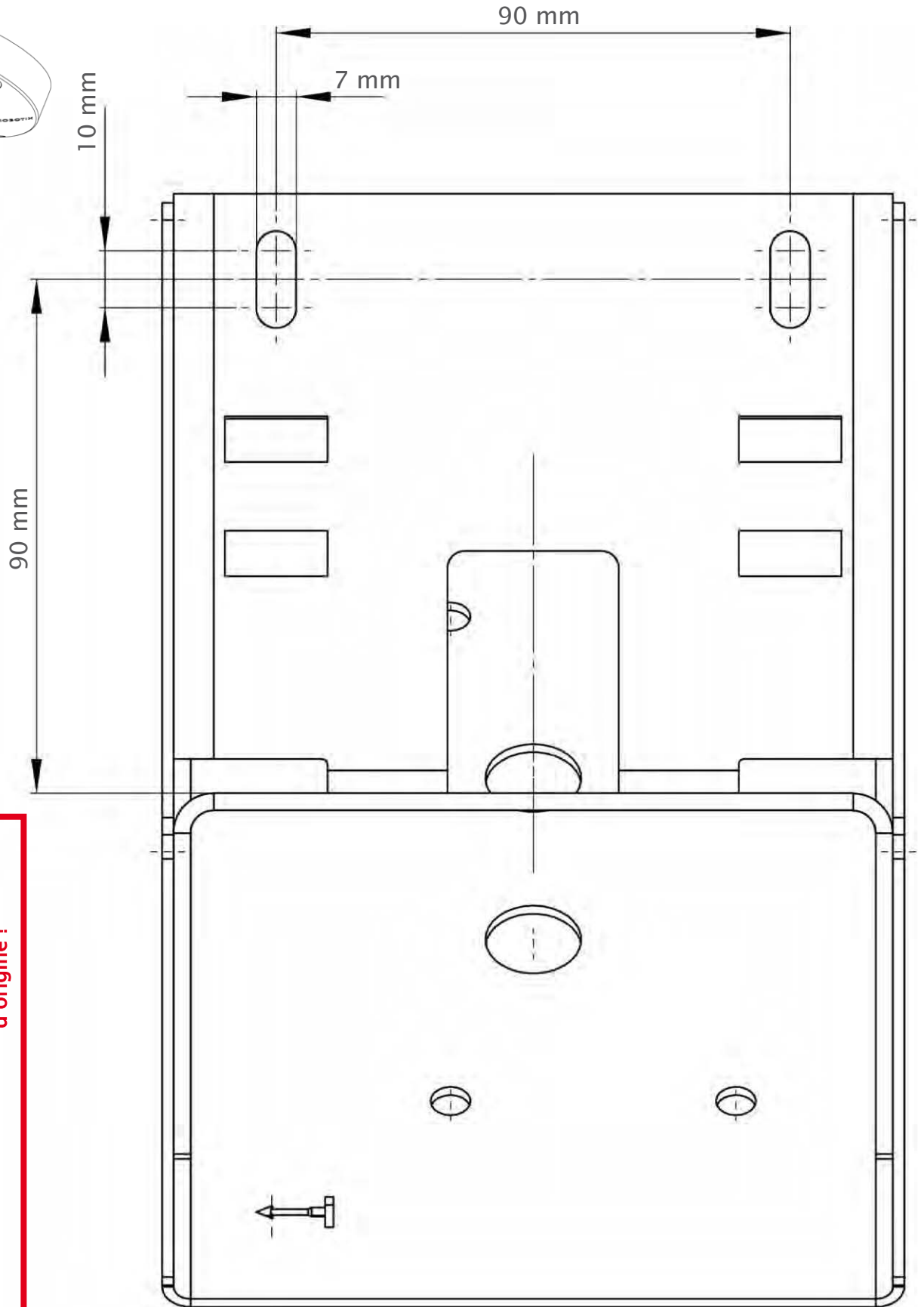
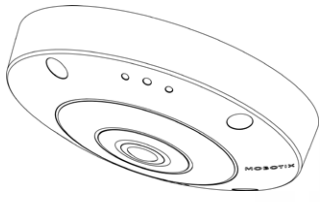
Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !



Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!

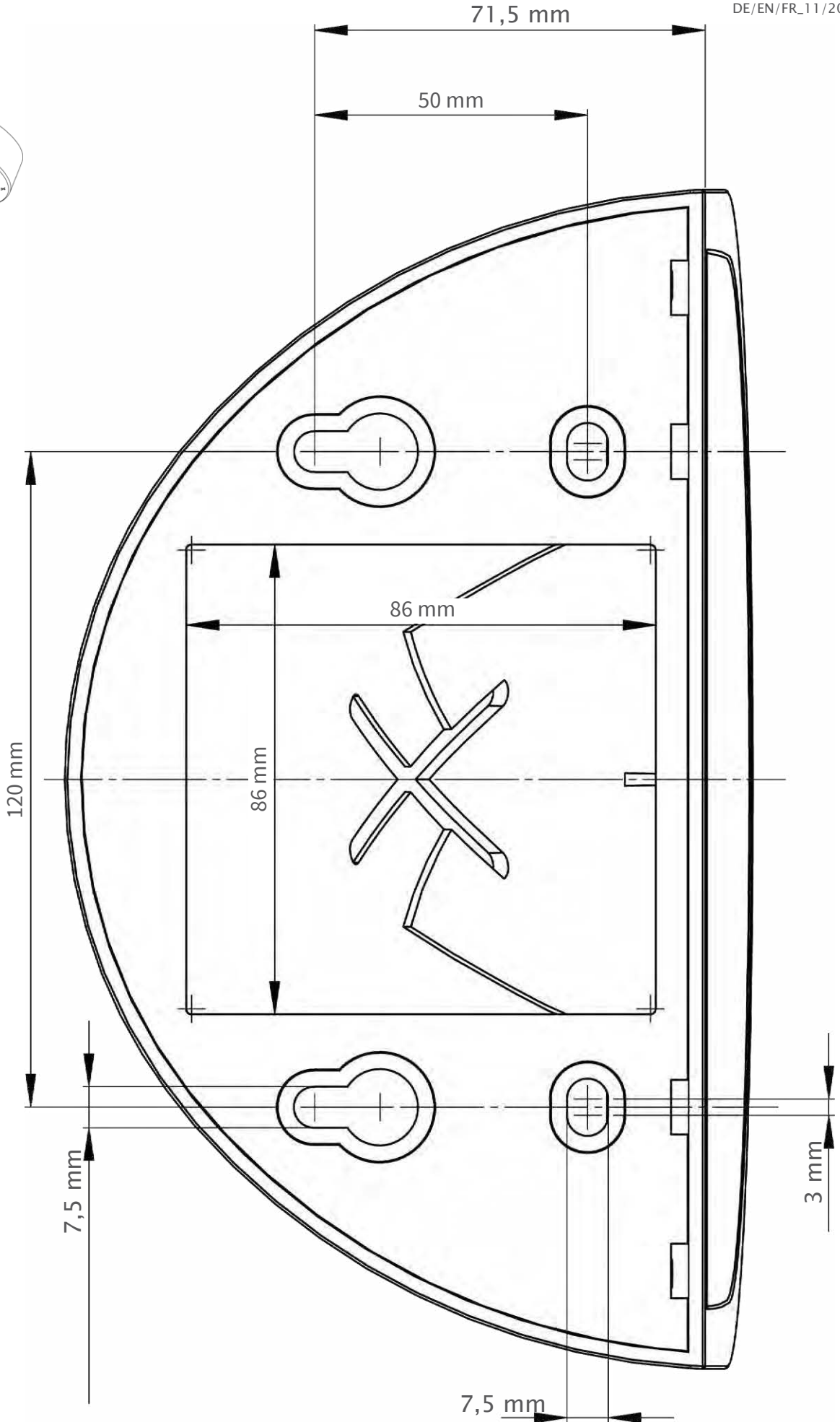
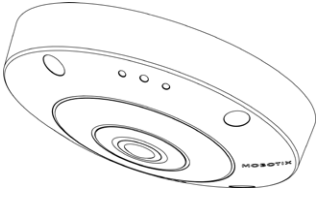
コピーやプリントは、必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。

Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !



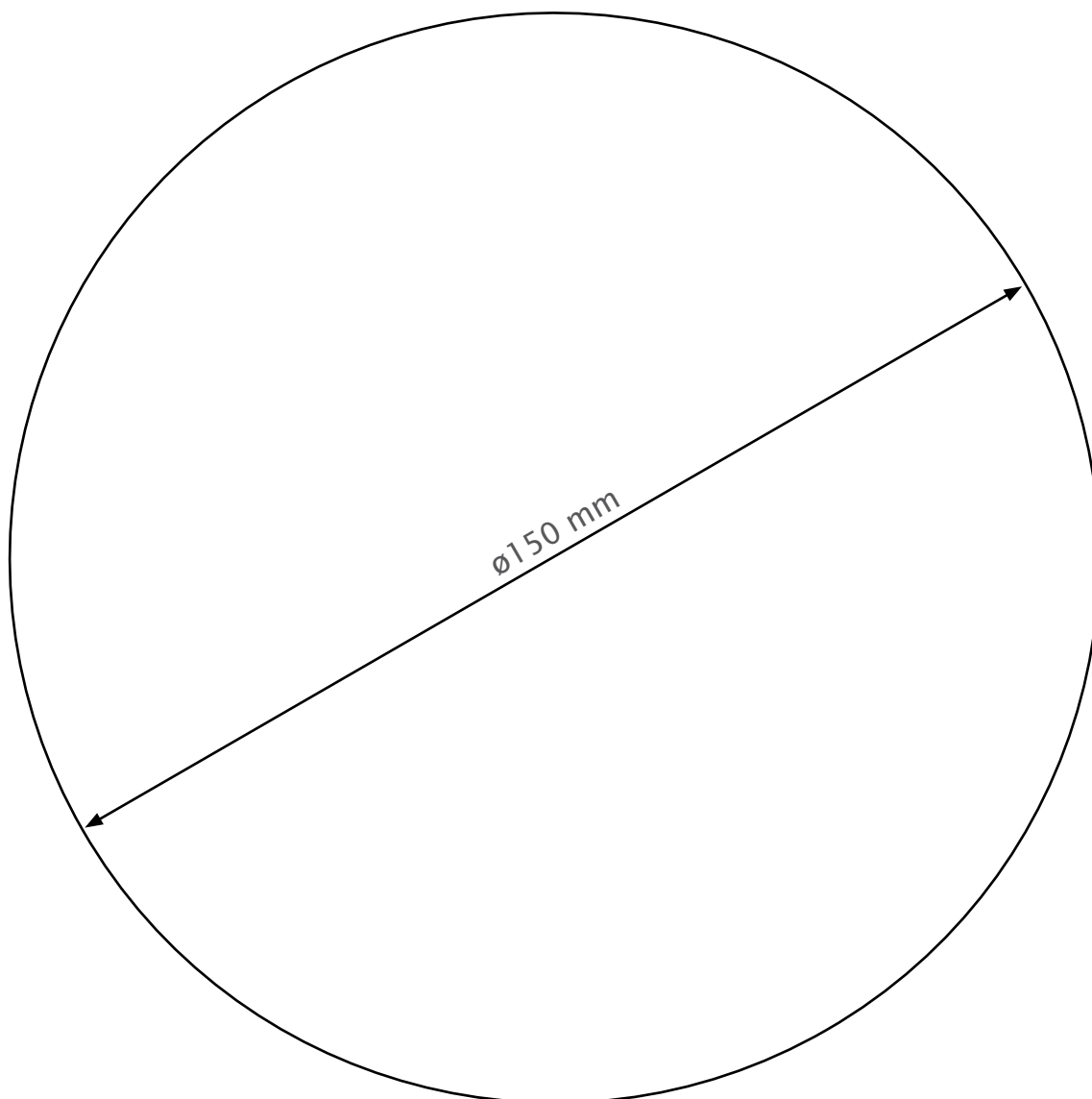
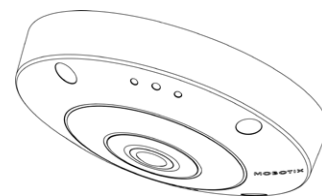
Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!
コピーやプリントは、必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。
Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !





Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!
コピーやプリントは、必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。

Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !



Nur in Originalgröße kopieren oder ausdrucken!

コピーやプリントは、必ずオリジナルサイズの100%で行ってください。

Copier ou imprimer uniquement aux dimensions d'origine !

納入品目と寸法

このセクションでは、以下の情報を提供します。

マウント用品：納入品目	18
MOBOTIXQ71：納入品目	19
ウォールマウント：納入品目	20

マウント用品：納入品目

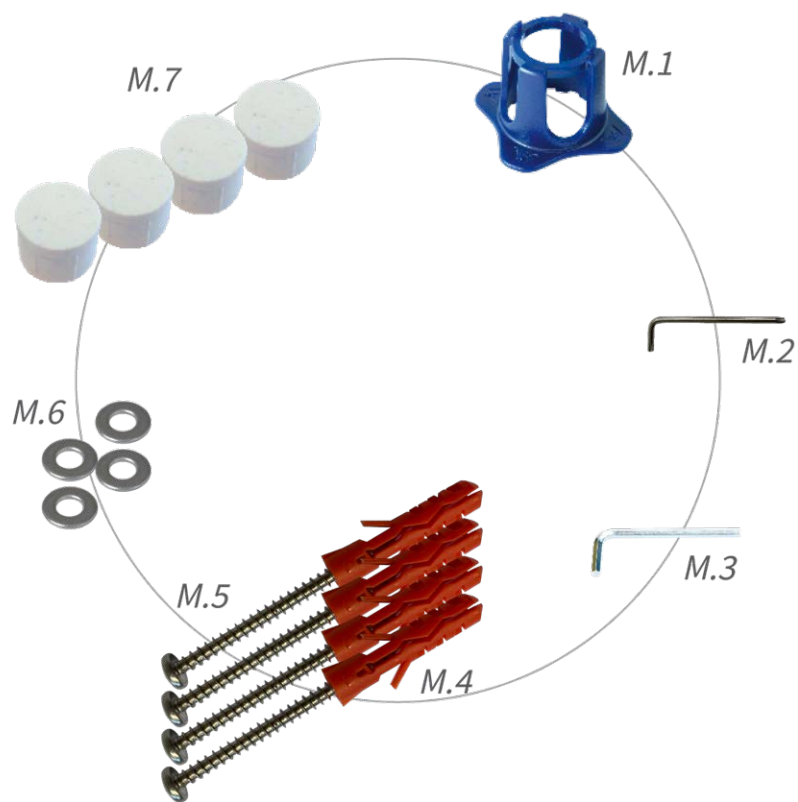


図1：マウント用品：納入品目

Q71納入品目 マウント用品

アイテム	カウント	説明
M.1	1	Q71 レンズレンチ (ブルー)
M.2	1	六角レンチ 2.5mm
M.3	1	六角レンチ 2.5mm
M.4	4	ダボ 8 mm
M.5	4	ステンレス製なべ小ネジ4.5x60mm
M.6	4	ステンレス製ワッシャー Ø5.3 mm
M.7	4	シーリングプラグ、白

MOBOTIX Q71 : 納入品目



図2 : Q71 本体 納入品目

Q71 本体 納入品目

アイテム	数量	説明
1.1	1	I/Oドーム、白（装着済み）
1.2	1	USBプラグ、青（装着済み）
1.3	1	USBポート用バヨネットキャッチ、青（装着済み）
1.4	1	イーサネット・プラグ、青（装着済み）
1.5	1	イーサネット・ポート用バヨネット・キャッチ、青（装着済み）
1.6	1	イーサネット・パッチ・ケーブル RJ45, 50 cm/19.7 in
1.7	1	SDカードカバー（装着済み）
1.8	1	SDカード8GB（装着済み）

Q71 本体 納入品目

アイテム	数量	説明
1.9	1	マウント用品 (「マウント用品 納入品目」 P.18参照)
1.10	1	重要な安全情報
1.11	1	カメラ接続フライヤー
1.12	1	カメラのEAN番号を記載したステッカー
1.13	1	カメラのIPアドレスが書かれたシール

ウォールマウント：納入品目

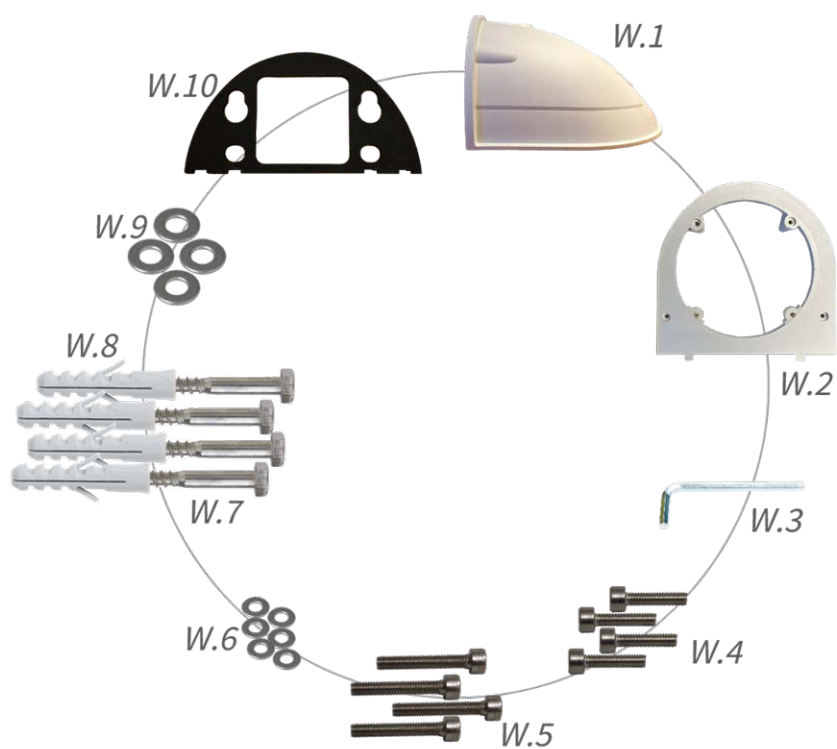


図3：ウォールマウント納入品目

ウォールマウント納入品目

アイテム	数量	説明
W.1	1	ウォールマウントアッパーシェル、白
W.2	1	ボトムプレート、白
W.3	1	六角レンチ 3mm
W.4	2	ステンレス製六角レンチ 4x18 mm
W.5	4	ステンレス製六角レンチ4x40mm
W.6	6	ステンレス製ワッシャー Ø4.3 mm
W.7	4	ステンレス製六角穴付きネジ 6x50 mm
W.8	4	ダボ 8 mm
W.9	4	ステンレス製ワッシャー Ø6.3 mm
W.10	1	粘着式ウォールシール、ブラック

Q71 - 寸法

NOTE

ドリルテンプレートをダウンロードしてください：www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Marketing & Documentation] > [Drilling Templates]

注意

常にオリジナルサイズの100%でプリントやコピーをしてください。

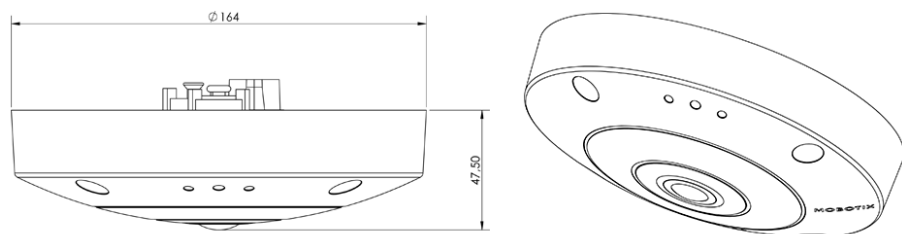


図4：Q71:すべての測定値の単位はmm

スペックシート

注文方法

名称	Q71 Single Lens
注文コード:	Mx-Q71A-12DN016

ハードウェア

イメージセンサー (DN)	12MP 有効最大解像度 2880x2880
光感度	<ul style="list-style-type: none">■ カラーセンサー (day) : 0,1 lx @ 1/60 s、 0,005 lx @ 1 s■ BWセンサー (night) : 0,02 lx @ 1/60 s、 0,001 lx @ 1 s
露出制御	マニュアル/オートマモード 1秒~1/16,000秒
ビデオコーデック	H.264、H.265 トリプルストリーミング機能付 MxPEG+ MJPEG
IK保護等級	IK10
IP保護等級	IP66
動作温度範囲	-40 ~ 65 °C
最小コールドスタート温度	-30 °C
相対湿度	95 % 結露なし
内臓DVR (設定不要)	MicroSDカード (8GB) 、 MxPEG+ 記録のみ

I/Os	<p>INPUT</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 接点入力（ガルバニックアイソレーション不要）または最大50V AC/DC ■ ケーブルの最大長：50m <p>OUTPUT</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プルアップ抵抗と外部電源（10mA 最大50V DC-ACなし）が必要です。 ■ ケーブルの最大長：接続するケーブルのループインピーダンスに依存。 <p>PCB端子に接続されたケーブルの仕様：</p> <p>導体断面積</p> <table border="1"> <tr> <td>AWG</td> <td>20 - 26</td> </tr> <tr> <td>Rigid</td> <td>0.14mm² ~ 0.5mm²</td> </tr> <tr> <td>Flexible</td> <td>0.14mm² ~ 0.5mm²</td> </tr> <tr> <td>Flexible with ferrule</td> <td>0.25mm² ~ 0.34mm²</td> </tr> </table>	AWG	20 - 26	Rigid	0.14mm ² ~ 0.5mm ²	Flexible	0.14mm ² ~ 0.5mm ²	Flexible with ferrule	0.25mm ² ~ 0.34mm ²
AWG	20 - 26								
Rigid	0.14mm ² ~ 0.5mm ²								
Flexible	0.14mm ² ~ 0.5mm ²								
Flexible with ferrule	0.25mm ² ~ 0.34mm ²								
マイク/スピーカ	<p>内蔵マイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 感度：-35 +-4 dB (0 dB = 1 V/pa, 1 kHz) <p>統合されたスピーカー：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 8 Ohmで0.9 W <p>ラインイン / ラインアウト</p>								
統合された照明	赤外線、白色光最大15m								
衝撃検知器 (タンパー検知)	○								
最大消費電力	25 W								
電気サージ保護	MX-Overvoltage-Protection-Box（別売）との組み合わせが可能です。								
PoE規格	PoE Plus (802.3at-2009)/クラス 4								
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ■ イーサネット1000BaseT（RJ45、EIA/TIA-568B準拠） ■ USB-C/USB2.0; High-Speed ($V_{out} = 5.1 V$, $I_{out} = 0.9 A$, $P_{out} = 4.5 W$) 								
マウントオプション	壁や天井に取り付け可能								

寸法
(Ø×高さ) 164 x 47,5 mm

センサーモジュールなし
の重量 約2.5kg

ハウジング アルミニウム、PBT-30GF

標準付属品 **MOBOTIX Q71 : 納入品目をご覧ください**

詳細な技術資料 www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Marketing & Documentation]

MTBF MTBF80,000時間

証明書 EN 50121-4:2015、EN 50581:2012、EN 55032:2012+AC:2013、EN 55035:2017、FprEN 61000-6-1:2015、EN 61000-6-2:2015、EN 61000-6-3:2007+A1:2011+AC:2012、EN 61000-6-4:2007+A1:2011、EN 62368-1:2014 + AC: 2015 + A11: 2017 + AC: 2017、IEC 60950-22:2016、AS/NZS CISPR32:2015、47 CFR Part 15b

プロトコル DHCP (クライアントおよびサーバー)、DNS、ICMP、IGMP v3、IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS、FTP、FTPS、NFS、NTP(クライアントおよびサーバー)、RTP、RTCP、RTSP、SFTP、SIP (クライアントおよびサーバー)、SMB/CIFS、SNMP、SMTP、SSL/TLS 1.3、UDP、VLAN、VPN、Zeroconf/mDNS

メーカー保証 3年

画像フォーマット、フレームレート、画像ストレージ

利用可能なビデオコーデック MxPEG+ / MJPEG / H.264 / H.265

画像の解像度 VGA 640x360、XGA 1024x576、HD 1280x720、FullHD 1920x1080、4MP 2688x1512、12MP 2880x2880

H.264マルチストリーミング トリプルストリーミング

RTSPによるマルチキャストストリーム

最大画像解像度 4K UHD 3840x2160 / 4MP 2688x1512

最大フレームレート MxPEG : 20@4k、H.264 : 30@4k、H.265 : 30@4k

特徴

WDR	最大120dB
ソフトウェアの機能	<ul style="list-style-type: none">■ H.264、 H.265 マルチストリーミング■ RTSPによるマルチキャストストリーム■ デジタルパン、チルト、ズーム/vPTZ（最大8倍ズーム）■ Genetecプロトコルの統合■ カスタム露光ゾーン■ スナップショット記録（アラーム前/アラーム後の画像）■ 連続記録■ イベント記録■ 時間制御されたフレキシブルなイベントロジック■ 録画やアクションの週間スケジュール■ イベントの映像や画像をFTPやEメールで転送■ Webブラウザでの再生とQuadView■ 画像上のアニメーションロゴ■ マスター/スレーブ機能■ プライバシーゾーンのスケジューリング■ リモートアラーム通知（ネットワークメッセージ）■ プログラミングインターフェース（HTTP-API）■ MxMessageSystem
ONVIF対応	プロファイル S、T
マスター/スレーブ機能	○
リモートアラーム通知	Eメール、ネットワークメッセージ（HTTP/HTTPS）、SNMP、MxMessageSystem
DVR/ストレージ管理 （MxPEG+のみ）	カメラ内（microSDカード経由）、外付けUSBおよびNASデバイス、ライブ画像および録画用の異なるストリーム、バッファ付きアーカイブを備えたMxFFS、アラーム前後の画像、エラーレポートを備えたストレージ監視
カメラとデータのセキュリティ	ユーザーおよびグループ管理、SSL接続、IPベースのアクセスコントロール、IEEE 802.1X、侵入検知、デジタル画像署名

ビデオ分析

ビデオモーション検出	○
MxActivitySensor	バージョン1.0, 2.1
ONVIF対応	プロファイル S、T
MxAnalytics	ヒートマップ、人数カウント、オブジェクトベースカウント
MOBOTIX認定Appのサポート	○ (今後のファームウェアリリースで追加される予定です)

ビデオ管理ソフトウェア

MxManagementCenter	○ (MxMCバージョン2.2以降) www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Software]
MOBOTIX LIVE	○ www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Software Downloads]

マウント

このセクションでは、以下の情報を提供します：

カメラを取り付ける前に	29
マウントオプション	32
カメラの接続	40

カメラを取り付ける前に

注意

カメラを取り付ける前に、カメラの筐体背面またはカメラのパッケージに記載されているIPアドレス①を必ずコピーしてください。このアドレスは、後にブラウザでカメラを設定する際に必要となります（「ブラウザのカメラソフトウェア」を参照してください）（P.54）参照）。



MOBOTIX Q71は、壁掛け用に設計されています。オプションのアクセサリを使用すれば、以下のようにカメラを設置することができます。

- 下向きの壁に取り付けるには、ウォールマウントを使用します： [P.34 「ウォールマウントの取り付け」ページを参照してください。](#)
- ポールに取り付けるには、コーナー／ポールマウントとウォールマウントを使用します： [P.38 「ポールへの取り付け（コーナー／ポールマウント）」を参照してください。](#)
- 建物の角に取り付ける場合は、角／ポールマウントを使用します。 [P.36 「角／ポールマウントと壁掛け」を参照してください。](#)

NOTE：ドリルテンプレートをダウンロードしてください： www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Marketing & Documentation] > [Drilling Templates]

注意 常にオリジナルサイズの100%でプリントやコピーをしてください。

MOBOTIX Q71を取り付ける前に、以下の質問の答えを準備する必要があります。

- カメラはどこに、どのように取り付けられますか？
- 取付面の高さは？
- 他にどの取り付けオプションが必要でしょうか？
- どのようなアクセサリが必要でしょうか？
- カメラはどのようにネットワークに接続され、どのように電力が供給されますか？

- 建物からの接続はどのように提供されますか？
- どのようなケーブルの考慮事項が必要ですか？
- より大容量SDカードを使用しますか？（microSDカードの交換、P.58を参照）

ご不明な点がございましたら、MOBOTIXのパートナーにお問い合わせください。

保護措置

警告：屋内外でケーブルを敷設する際には、ケーブル敷設、雷、防火に関する現行の規則を常に遵守する必要があります。

MOBOTIXカメラは、様々な方法で小さな過電圧の影響から保護されています。しかし、これらの対策では、カメラにダメージを与える大きなサージ電圧を防ぐことはできません。カメラを屋外に設置する際には、建物やネットワーク・インフラストラクチャに対する雷保護とそれに伴う危険性に特に注意を払う必要があります。

一般的に、MOBOTIXカメラの設置は、ネットワーク機器の設置と安全な操作に精通し、雷や火災防止のための基本的な規制や、サージ電圧による損傷を防止するための最新技術に精通した、認定された専門業者のみが行います。

ケーブル敷設の注意点

- **データケーブル：**イーサネットインターフェースのデータケーブルには、二重シールドされたCAT5ケーブル以上（S/STP）を使用してください。

NOTE

屋外で使用する場合は、使用するケーブルと落雷保護に特別な要件が適用されます。

- **ケーブル長：**データを確実に伝送するために、個々のケーブルの長さは最大許容値を超えないようにしてください。
- **誘導の回避：**データケーブルは、規定の最小距離が守られている場合にのみ、電力線または高圧線と平行に敷設することができます。
- **IP66に準拠した耐候性を保証するために、センサーモジュール、パッチケーブル、USBケーブルの接続には、オリジナルのMOBOTIXケーブルのみを使用してください。追加のケーブル（MxBus、オーディオ）が必要な場合は、付属のプラグを使用する必要があります。**

防火対策

電源ケーブルを敷設する際には、各国の関連法規（ドイツのVDEなど）および設置場所で有効な防火規則を遵守する必要があります。

雷・サージ保護

雷サージによる損傷からカメラを保護するための対策を常に講じる必要があります。

NOTE：

MX-Overvoltage-Protection-Box（別売）を使用することで、雷サージへの保護が可能です。

雷や過電圧による被害を回避するための詳しい情報は、雷や過電圧の保護装置のメーカーから入手できます。

マウントオプション

Q71は付属品なしで、壁や天井などの平らな面に取り付けることができます。

取付用アクセサリ

- ウォールマウントは、カメラが下を向くような設置に最適です。
- ウォールマウントとステンレス製のコーナー／ポールマウントを使用すれば、直径180mmまでのポールや90°コーナーにもカメラを取り付けることができます。

すべての取付方法で配線を隠すことができ、設置の安全性を高めることができます。

注意：平らな面にのみ設置してください。凹凸は0.5mmを超えないようにしてください。耐候性を保証するために、MOBOTIXの純正パッチケーブルのみを使用してください。

NOTE：カメラを取り付ける前に、理想的な位置を決定し、視野を遮るものがないことを確認します。カメラを装着した後は、画像の微調整を行います。

カメラの取り付け（アクセサリなし）

付属品なしで設置する場合は、カメラ背面のコネクターにスペースが必要なため、まず壁にフラッシュマウントのコンセントを設置してください。

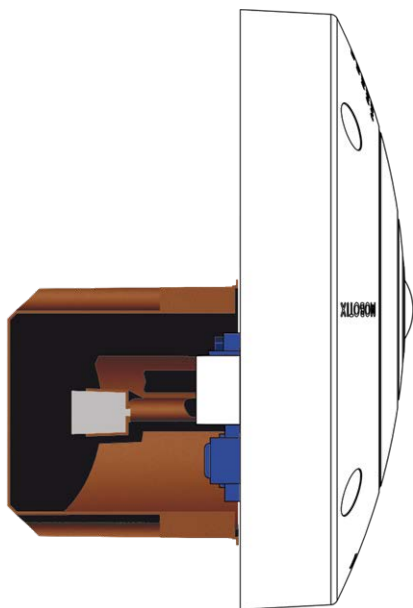


図5：Q71をフラッシュマウントの壁コンセントにかぶせた状態の側面図

カメラを設置する前に、設置場所にPoE Plus（802.3at-2009）規格に準拠した電源供給が可能なネットワーク接続環境が整っていることを確認してください（P.1「カメラの接続」参照）。

NOTE：設置面が木の場合、ダボは使用しないでください。マウントプレートを表面に直接固定するためにのみネジを使用してください。木材へのねじ止めを容易にするために、例えば2mmのドリルビットを使ってあらかじめ穴を開けておく必要があります（穴の深さはねじの長さよりもわずかに小さい程度）。

NOTE：カメラが部屋を最大限にカバーするためには、Q71を部屋の中央に近い壁や天井に設置する必要があります。

手順

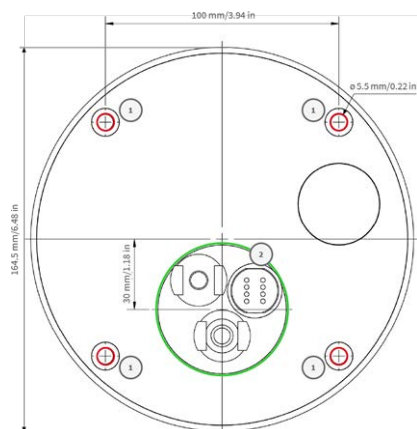


図6：ファスナーネジ（赤丸）とフラッシュマウント・コンセント（緑丸）を配置するための穴を開けたテンプレート

1. ドリルテンプレート([PDFのドリルテンプレートを参照](#)), を用いて、穿孔用の穴①に印をつける。穴を開ける際には、適切な8mmのドリルビットを使用し、60mm/1.2以上の深さの穴を開けてください。

NOTE : ドリルテンプレートには、ドリル穴に加えて、壁のコンセントの最小サイズと位置を示す円②も含まれています。

2. [M.4](#)、[P.18](#) のダボを、開けた穴に完全に押し込みます。
3. カメラのPoEネットワーク接続を確立する。([P.40「カメラのネットワーク接続」参照](#))
4. 付属のなベネジ [M.5 \(P. 18\)](#)を使ってカメラを取り付けます。

ウォールマウントの設置



注意 : カメラを設置する前に、設置位置にPoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源供給が可能なネットワーク接続環境が整っていることを確認してください([「カメラをネットワークに接続する」参照](#))

ウォールマウントを使用すると、MOBOTIX Q71を屋内外の壁や延長部に簡単に取り付けることができます。カメラはIP65の耐候性(防塵、ウォータージェット耐性)を維持しています。また、ウォールマウントはRJ45壁コンセントをカバーし、追加モジュール(WiFi、バッテリーなど)のための十分なスペースがあります。

Q71をウォールマウントで取り付ける前に、固定用の穴を開けます。付属のドリルテンプレートを 사용할ことができます。([ドリルテンプレートのPDFをご覧ください](#))

NOTE

ドリルテンプレートはMOBOTIXのウェブサイトからダウンロードできます : www.mobotix.com > [\[Support\]](#) > [\[Download Center\]](#) > [\[Marketing & Documentation\]](#) > [\[Drilling Templates\]](#)

注意 : 常にオリジナルサイズの100%でプリントやコピーをしてください。

マウント

取付けオプション

NOTE : 設置面が木の場合、ダボは使用しないでください。マウントプレートを表面に直接固定するためにのみネジを使用してください。木材へのねじ止めを容易にするために、例えば2mmのドリルビットを使ってあらかじめ穴を開けておく必要があります（穴の深さはねじの長さよりもわずかに小さい程度）。

手順

1. ドリルテンプレート（PDFのドリルテンプレートを参照）を用いて、①に印をつけます。穴を開けるときは、適切な8 mmのドリルビットを使用し、少なくとも60 mmの深さの穴を開けます。

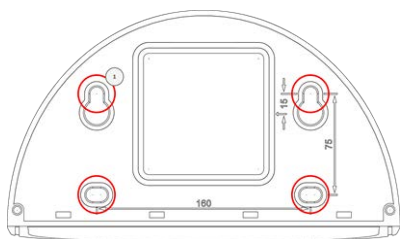


図7：ファスナースクリューを配置するための穴があるウォールマウント

2. W.8 (P.21)のダボを、開けた穴に完全に押し込みます。
3. 黒のウォールシールW.10 (P.21) から剥離紙を剥がし、ウォールマウントの背面に貼り付けます（表面は清潔で、油分がないこと）。



図8：ウォールマウント背面のウォールシーリング

4. ネットワークケーブルを、大きな四角い開口部からウォールマウントに通します。
5. 付属の六角ネジW.7 (P.21) を使って、壁掛け金具を目的の位置に取り付けます。
6. カメラの前面にあるゴム栓を外します。



7. 現場のネットワークケーブルとカメラのパッチケーブルを標準のコネクタで接続できるように準備します。余ったケーブルはウォールマウント内に簡単に収納できます。(P.40「カメラの接続」参照)
8. 付属の六角レンチW.2 (P.21) を使って、長い六角ネジW.5 (P.21) 2本とワッシャーW.6(P.21) 1枚ずつで、カメラをウォールマウントの底板に固定します。



9. カメラをPoEネットワークに接続します。(P.40「カメラをネットワークに接続する」参照)
10. カメラをウォールマウントに取り付けた状態で、底板W.2 (P.21) を取り付けます：
 - 短めの六角ネジW.4(P.21) 2本とワッシャーW.6(P.21) 1枚を使って、カメラを底板の裏側に固定します①。
 - 長めの六角ネジW.5(P.21) 2本とワッシャーW.6(P.21) 1枚を使って、カメラを底板の前面に固定します②。



11. ゴム栓M.7 (P.18) をカメラのネジ穴に押し込む。(上図の①と②)

コーナーへの取り付け (コーナー／ポールマウント)

注意：カメラを設置する前に、設置位置にPoE Plus (802.3at-2009) 規格に準拠した電源供給が可能なネットワーク接続環境が整っていることを確認してください。(「カメラをネットワークに接続する」参照)

Q71 コーナー/ポールマウント 寸法

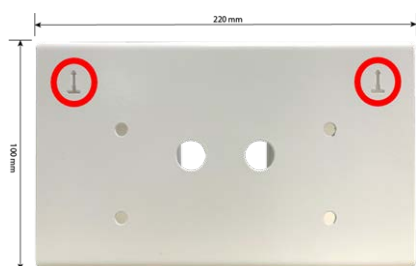


図9：Q71コーナー/ポールマウント寸法 - 正面図

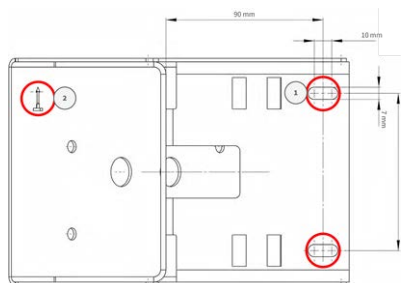
NOTE： 取り付けの際は、マウントの矢印が上を向くようにしてください。



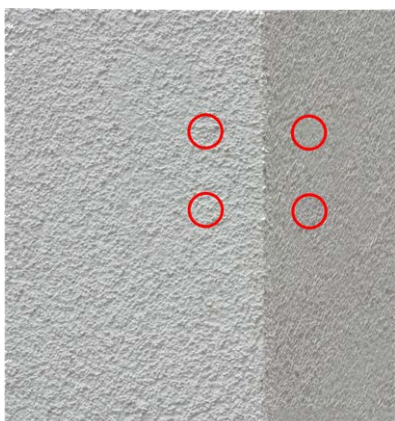
図10：Q71 コーナー/ポールマウント寸法 - 側面図

手順

1. ドリルテンプレートを使用して、建物の角にある4つのネジアンカー穴①に印を付けます。コーナー/ポールマウントの矢印②が上を向いていることを確認してください。



- 10mmのウォールドリルで穴を開け、付属のダボを穴の中に入れる。



- 付属のネットワークケーブルを片方の穴に通します。

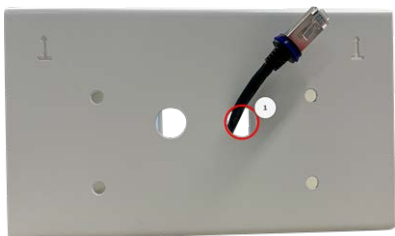


図11：ネットワークケーブルの準備

- コーナー/ポールマウントを建物の角に木ネジとワッシャーで固定します。



- [P.34「ウォールマウントの取り付け」](#)で説明したように、ウォールマウントをコーナー/ポールマウントに取り付けてください。

ポールへの取り付け（コーナー/ポールマウント）

注意：カメラを設置する前に、設置位置にPoE Plus（802.3at-2009）規格に準拠した電源供給が可能なネットワーク接続環境が整っていることを確認してください（[「カメラをネットワークに接続する」](#)参照）。

マウント

取付けオプション

NOTE : ポールの直径は60～180mmである必要があります。

コーナー／ポールマウントの寸法については、P.37「[Q71 コーナー／ポールマウント - 寸法図](#)」を参照してください。

手順

1. 付属のステンレスストラップを、図のようにコーナー／ポールマウントの切り込みに沿って通します。



図12：スチール・ストラップでポールマウントを準備する

2. コーナー／ポールマウントのステンレススチール製ストラップをドライバーで締めます。必要に応じて、ストラップの端を切り落とすことができます。



図13：ストラップの締め付け

3. 付属のネットワークケーブルを片方の穴①に通します。

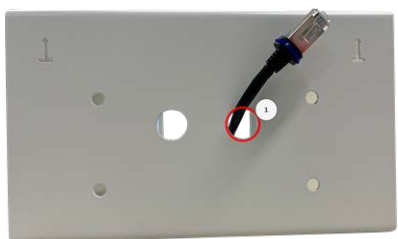


図14：ネットワークケーブルの準備

4. [P.34 「ウォールマウントの取り付け」](#) で説明したように、ウォールマウントをコーナー／ポールマウントに取り付けてください。

カメラの接続

カメラへの接続（ネットワーク、MiniUSB、入出力）は、すべてカメラ上で直接行うことができます。このための追加アクセサリは必要ありません。カメラの電源は、PoEスイッチから供給されます。

カメラとネットワークの接続

注意

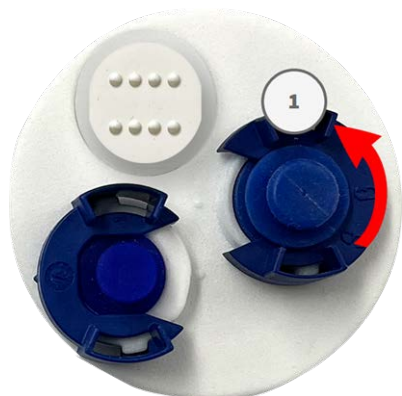
- PoEスイッチは、PoE Plus（802.3at-2009）に準拠したクラス4を提供するとともに、カメラの100/1000Mbpsイーサネットインターフェースを提供する必要があります。
- スイッチには無停電電源装置（UPS）を使用することを強くお勧めします。
- 遠隔地から電源を供給するためのネットワークケーブルの最大長は100mです。



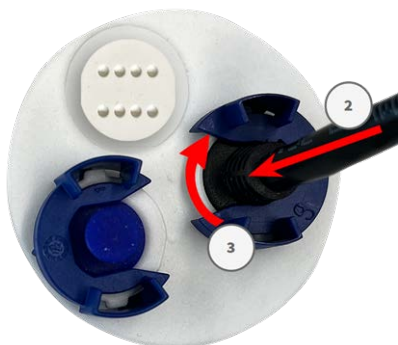
図15：PoE Plus（802.3at-2009）に準拠したPoEスイッチによる電源供給。

カメラとネットワークの接続

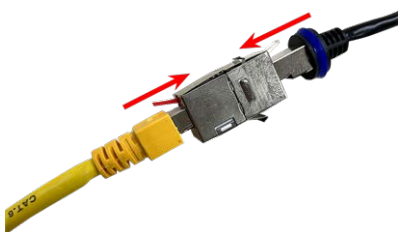
1. RJ45ネットワークコネクタのカバーを外すには、バヨネットキャッチ①を反時計回りに回転させて取り外し、青いゴム製プラグで引き抜きます。



2. 付属のパッチケーブル②をネットワークコネクタに差し込み、青いシールリングがカチッと音を立てて止まるまでしっかりと押し込んでください。



3. バヨネットキャッチ③を時計回りに回して取り付けます。
4. 付属のパッチケーブル1.6 (P.19) とPoEネットワークケーブルを標準のコネクタで接続します。



USB-Cデバイスの接続

カメラにはUSB-Cポートが搭載されており、外部ストレージメディアを接続することができるなどの特徴があります。

1. TUSB-Cポートを開けるには、バヨネットキャッチ①を反時計回りに回転させて外し、青いゴム製のプラグを外します。



2. USB-Cコネクタをポートに差し込み、青いシーリングリングがカチッと音を立てるまでしっかりと押し込んでください。

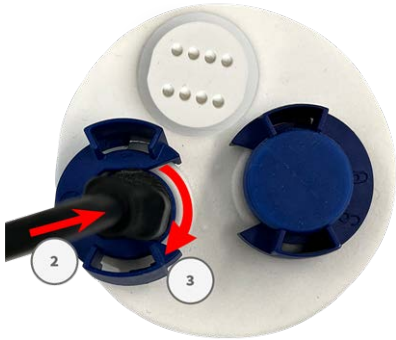


図16：青色のシーリング・リングがカチッと音を立てるまで、プラグをしっかりと押し込む

3. バヨネットキャッチ③を時計回りに回して取り付けます。
4. USB-Cデバイスを接続します。

カメラの操作

このセクションでは、以下の情報を提供します：

はじめに	45
カメラのブートオプション	45
ネットワーク設定	49

はじめに

Q71は、現在使用しているブラウザでも、MxManagementCenterでも使用できます。

MxManagementCenterは、www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Software Downloads]から無料でダウンロードできます。

手順

1. **カメラをネットワークに接続します**：ネットワークケーブルは、カメラへの電源供給にもなります。
（「[カメラをネットワークに接続する](#)」参照）
2. **カメラへの接続を確立し、必要に応じてネットワーク設定を調整します**：工場出荷時のデフォルトでは、MOBOTIXカメラは、10.x.x.xの範囲の固定IPアドレス（例：10.16.0.128）を追加したDHCPクライアントとして起動します。ローカルコンピュータネットワークでは、通常、172または192の範囲のIPアドレスが使用されます。ローカルネットワークにDHCPサーバーが存在するか、固定IPアドレスを使用するようにネットワークが設定されているかによって、カメラへの接続を確立したり、ネットワーク設定を変更したりする方法がいくつかあります（[P.49](#)）。
 - **動的IPアドレスを持つネットワーク**
ブラウザを使用：DHCPサーバーがカメラに割り当てたIPアドレスがわかっている場合は、そのアドレスをブラウザのアドレスバーに入力するだけで、カメラに直接接続できます。
MxManagementCenterの使用：MxManagementCenterを使えば、カメラの現在のIPアドレスを知らなくても、カメラの表示や登録が可能です。
 - **静的IPアドレスを持つネットワーク**
カメラにアクセスするためには、ローカルネットワークの範囲内でIPアドレスを持つ必要があります。カメラのネットワークパラメーターを設定するには、以下のいずれかの方法を使用します：
Webブラウザを使用して手動で：コンピュータのネットワーク設定を調整する必要がある場合があります。
 - **MxManagementCenterを自動的に使用する**：IPアドレスはローカルネットワークに属していませんが、カメラはMxManagementCenterに表示されるため、設定を再構成できます。
3. **カメラの設定**：カメラのユーザーインターフェースは、ブラウザまたはMxManagementCenterで使用できます。

カメラのブートオプション

デフォルトでは、カメラはDHCPクライアントとして起動し、自動的にDHCPサーバーからIPアドレスの取得を試みます。デフォルトのモードとは異なるモードでカメラを起動するには、カメラのブートメニューを有効にします。

NOTE : カメラのキーを押すと、カメラの現在のIPアドレスがスピーカーにアナウンスされます。
(カメラにスピーカーが付いている場合)



図17 : カメラボディ上部のカメラLED

手順

注意 : カメラを開けるときは、筐体の中に物を入れないでください。カメラの故障の原因となります。

1. カメラの準備 :

- カメラの電源を切ります。
- カメラの裏側にある白いカバーのネジ①を幅の広いドライバーで外します。



- ブートメニューを操作するための適切なツールを使用してください。(例 : ピンセット 装着用品 : [納入範囲 \(P.18\)](#))
 - カメラの電源を再接続してください。
2. **ブートメニューを起動します :** 電源を入れてから5~10秒後にカメラ本体上部の赤いLEDが点灯し、10秒間点灯したままになります。

カメラの操作

カメラのブートオプション

- ツールを使って、SDカードスロットの横にある小さな黒いリセットボタン②を押してください。カメラはブートメニューに入り、ブートオプションを選択することができます。LEDが1回点滅します。この点滅信号は1秒ごとに繰り返されます。



NOTE : 点滅の数は、現在のブートオプションに対応しています。

- ブートオプションを切り替えます：キーを短く押してください（1秒未満）。最後の起動オプションの後、カメラは最初の起動オプションに戻ります（LEDが1回点滅します）。

LEDが点滅する	ブートオプション	意味	音声確認*
1x	./.	このオプションは、このカメラのモデルではサポートされていません。	./.
2x	工場出荷時の設定	カメラを工場出荷時の状態で起動します（ファクトリーデフォルトのIPアドレス、ユーザー、パスワードはリセットされません）。	Boing
3x	自動IPアドレス	カメラをDHCPクライアントとして起動し、DHCPサーバーからIPアドレスの取得を試みます。DHCPサーバーが見つからない場合やIPアドレスが取得できない場合は、カメラは工場出荷時のアドレスで起動します。	Boing-Boing
4x	回収システム	カメラソフトウェアのアップデートに失敗したときなどに、リカバリーシステムでカメラを起動することができます。	アラーム音

*オーディオオプションのあるカメラで、スピーカーが搭載されている場合に限りです。

3. **ブートオプションを選択します**：キーを長押しします（2秒以上）。カメラはLEDを3秒間高速で点滅させて選択を確認します。20秒後、カメラは上の表にしたがって音を再生します。
4. 六角レンチ2.5mm M.7を使って、六角ネジとプラスチックワッシャーを挿入し、ネジを締めすぎないように注意します。

NOTE：

起動オプションを選択しない場合は、一定時間後に通常の起動処理を再開します。

注意： 工場出荷時の設定または自動IPアドレス（DHCP）でカメラを起動する起動オプション2および3を使用したときに読み込まれた設定は、カメラのフラッシュメモリーに自動的に保存されません。

次回のカメラ起動時には、最後に保存した設定値が使用されます。カメラのフラッシュメモリーに設定を保存するには、Admin Menu > [システム設定] を使用します。カメラに保存されている設定を再度適用するには、"リストア"を使用して、カメラの設定の特定の部分を後から復元することができますのでご注意ください。

Admin Menu > [システム設定] > [リセット]を使ってカメラをリセットするのとは対照的に、カメラが工場出荷時のデフォルトを使用して起動した場合、ユーザー情報はリセットされません。DHCPサポート（オプション2）でカメラを起動する場合は、ネットワークに正常に動作するDHCPサーバーがあることを確認してください。このような状況では、カメラは有効なIPアドレスを取得できず、最後のIPアドレスにフォールバックします。

また、カメラのMACアドレスを目的のIPアドレスにマッピングすることで、カメラが常に同じIPアドレスを取得できるようにする必要があります。

ネットワーク設定

カメラをネットワークに接続したら、それに応じてMOBOTIXカメラのネットワーク・インターフェースを設定する必要があります。このステップでは、カメラのネットワーク・パラメータの設定と確認を行います。ネットワークに有効なDHCPサーバがある場合や、255.0.0.0のネットワーク・マスクを持つ10.x.x.xのネットワークがすでに稼働している場合は、カメラのネットワーク・パラメータを変更する必要はありません。カメラに直接アクセスすることができます。お使いのネットワークやコンピューターが10.x.x.xネットワークのIPアドレスを使用していない場合（例：192.168.x.xまたは172.x.x.xネットワーク）、以下のいずれかの方法でカメラのネットワークパラメータを変更する必要があります。

- マニュアル設定
- MxManagementCenterによる自動セットアップ

NOTE : 以下の例では、工場出荷時のIPアドレスが10.16.0.99であるカメラを使用しています。このIPアドレスを、お使いのカメラのIPアドレスに置き換えてください。このアドレスは、カメラに貼られた小さなステッカーに記載されています。以下の例で使用するIPアドレスが、ネットワーク上の他の機器で使用されていないことを確認してください。

Windows 8.1/10

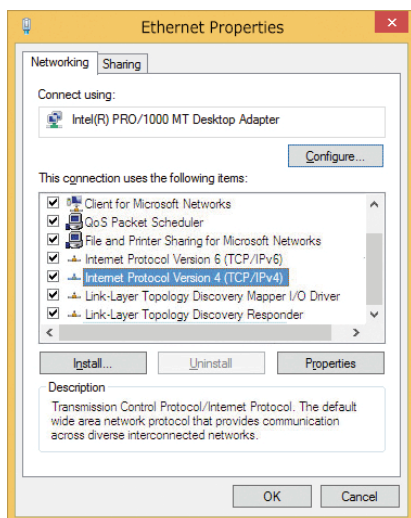


図18 : Windowsネットワーク設定

1. Windowsの「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプター設定の変更」→「イーサネット」を開きます。
2. 該当するネットワークアダプターを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. インターネット・プロトコル・バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティを開きます。

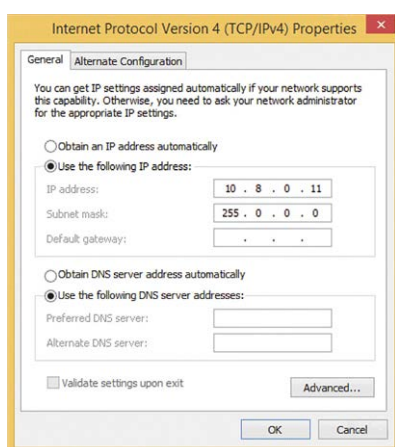


図19インターネット・プロトコル・バージョン 4のプロパティ

4. 次のIPアドレスを使用して有効化します。この欄には、10.x.x.xの範囲のIPアドレスを入力してください（例：10.16.0.11）。
5. OKをクリックすると、設定が適用されます。

Linux/Unix

1. rootユーザーでターミナルを開きます。
2. 次のコマンドを入力してください：ifconfig eth0:1 10.16.0.11.
3. このコンピュータには、10.16.0.11という追加のIPアドレスが設定されています。

macOS

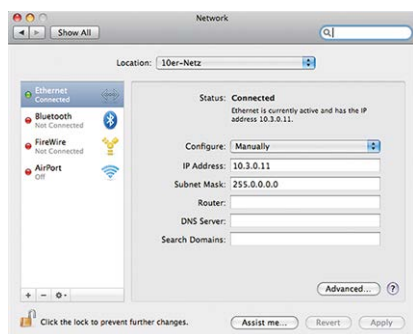


図20 : macOSマシンのネットワーク設定

1. 「システム設定」→「ネットワーク」を開きます。
2. 「イーサネット」をクリックし、「構成」フィールドで「マニュアル」リストのエントリを選択し、10.x.x.xのIPアドレス範囲内のIPアドレスを入力します（例：10.16.0.11）。
3. 「適用」をクリックすると、設定が適用されます。

ブラウザで見るMOBOTIXカメラ

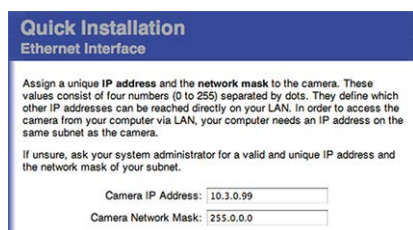


図21 : カメラのユーザーインターフェースでのネットワーク設定

1. Webブラウザを使用して、MOBOTIXカメラのWebインターフェースにアクセスし、工場出荷時のIPアドレス（例：10.16.0.99）を入力します。
2. カメラのユーザーインターフェースにある**Admin Menu**ボタンをクリックします。管理者ユーザーのアクセス認証を入力すると、クイックインストールが自動的に開始されます。

NOTE 工場出荷時のアクセス認証です：

ユーザー名：admin

パスワード：meinsm

NOTE!

後からクイックインストールを実行することもできます。（Admin Menu > [ネットワーク設定] > [クイックインストール]。リファレンスマニュアルをご参照ください）

3. クイックインストールの過程で、カメラのネットワークパラメータを入力します。

NOTE :

また、後からAdmin Menu > [ネットワーク設定] > [クイックインストール]を実行して、ネットワークパラメータを変更することもできます。

4. カメラを再起動すると、ネットワーク設定が反映されます。

MxManagementCenterのMOBOTIXカメラ

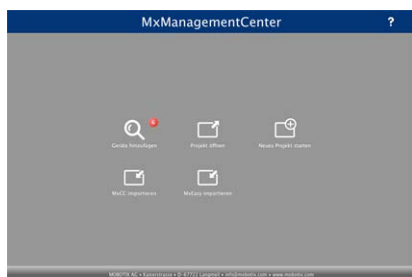
MxManagementCenterは、ビデオ監視システム全体を設定・使用するためのビデオ管理ソフトウェアで、さまざまな作業やユーザグループに対応したさまざまな機能を備えています。

MxManagementCenterの最新リリースは、MOBOTIXのウェブサイトからダウンロードできます。
(www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Software Downloads]のMxManagementCenter セクション)

NOTE : 詳細は、MxManagementCenterのヘルプをご参照ください。

手順

MxManagementCenterを初めて起動すると、設定ウィザードが開き、自動的にMOBOTIXカメラの検索が開始されます。見つかったカメラの数は、「デバイスの追加」アイコンの横にカウンターとして表示されます。この数は、ネットワーク上のMOBOTIXカメラの数に変更された場合（新しいカメラを接続したり、既存のカメラを切断したりした場合）、自動的に更新されます。





MxManagementCenterのスタート画面

1. 「デバイスの追加」をクリックします。カメラの表示は、リストまたはタイルで表示されます。リストボタン、タイルボタンで表示モードを変更できます。



図22 : カメラリスト

このアプリケーションは、すべてのカメラの動作状態を自動的に監視し、対応するアイコンを使って表示します。例 :

-  カメラがパソコンと同じサブネットに入っていない。
-  カメラのユーザー名とパスワードがわからない。

NOTE! Bonjourサービス ([en.wikipedia.org/wiki/Bonjour_\(software\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Bonjour_(software)))を使用して、アプリケーションは同じサブネット上のMOBOTIXカメラだけでなく、他のサブネット上のMOBOTIXカメラも検索します。通常は、異なるネットワークやサブネットにあるカメラへの接続を確立することはできません。

NOTE: 例えば、DHCPサーバーのないネットワーク（固定IPアドレス）にカメラを組み込んでいて、IPアドレスの範囲がDHCPに加えてカメラがサポートしている10.x.x.xの範囲と異なる場合などです。MxManagementCenterは、このようなカメラを自動的に設定し、既存のネットワークに「統合」することができます。

2. 設定したいカメラを選択し、プログラムウィンドウ下部の「ネットワーク設定の編集 」をクリックします。選択した機器のネットワーク設定変更」ダイアログが表示されます。



図23：選択した機器のネットワーク設定の変更

3. 選択したカメラのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

NOTE:他のカメラのIPアドレスは自動的に1ずつ増えていきます。

4. 「適用」をクリックすると、設定が適用されます。

NOTE! この機能の詳細については、MxManagementCenterのオンラインヘルプまたはチュートリアルをお読みください。(www.mobotix.com > [Support] > [Download Center] > [Documentation] > [Brochures & Guides] > [Tutorials]を参照) 。

カメラのソフトウェア

Q71に搭載されているソフトウェアには、動体検知機能、長時間録画機能、アラームメッセージ機能、ビデオIPテレフォニー機能など、さまざまな機能が搭載されています。特に注目すべきは、AIベースの分析機能と、カメラにサードパーティ製のアプリケーションをインストールできることです。バーチャルPTZ機能により、マウスホイールやジョイスティックを使って、ライブ画像を連続的に拡大・縮小することができます。

画像やビデオシーケンスを記録する際、ライブ画像の可視画像領域またはセンサー画像全体のいずれかを選択して保存することができます。これにより、記録時に表示されていたリアルタイム画像部分では見えなかった部分を確認することができます。ウェブ・ブラウザを使用する代わりに、MOBOTIXのウェブサイト (www.mobotix.com > [Support]) から無料のMxManagementCenterをダウンロードして、複数のカメラを1つのモニタに表示したり、音声付きのアラーム・ビデオ・クリップを快適に検索・評価したり、警告機能を提供したりすることができます。携帯電話のiOSおよびAndroidデバイスでは、無料のMOBOTIX LIVEをご利用いただけます。

このセクションでは、以下の情報を提供します：

ブラウザでカメラのWebサイトにアクセスする	55
基本設定	55

ブラウザでカメラのウェブサイトへアクセス

MOBOTIXの電源とネットワーク接続が確立されたら、ウェブ・ブラウザでカメラ・ソフトウェアのインターフェースを開くことができます。

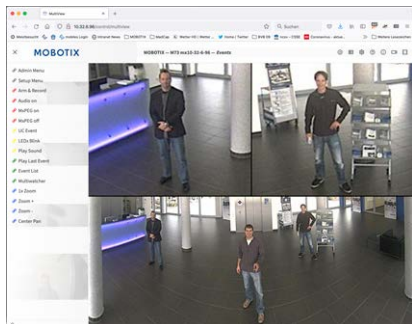


図24 : カメラのユーザーインターフェース

1. Webブラウザのアドレス欄に、カメラのIPアドレスを入力する。

NOTE : 必ずカメラ筐体の背面またはシールからコピーしてください。

基本設定

管理メニューのパスワード : ブラウザでカメラの管理領域 (Admin Menuボタン) にアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力しなければなりません。

- デフォルトのユーザー名 : admin
- デフォルトのパスワード : meinsm

NOTE : 初めてログインするときは、パスワードを変更する必要があります。

ユーザー名とパスワードの情報は、必ず安全な場所に保管してください。管理者パスワードを忘れて管理メニューにアクセスできなくなった場合、パスワードのリセットは工場でしかできません。このサービスにはサービス料がかかります。

クイックインストール・ウィザードは、管理メニューに初めてアクセスしたときに自動的に表示されません。このウィザードは、カメラの基本的な設定を現在のアプリケーションシナリオに合わせて調整するための簡単な方法です。セキュリティ上の理由から、カメラが正しく設定された後は、デフォルトの管理者パスワードを変更することを強くお勧めします。

ユーザー名とパスワードは、上記のように正確に入力してください。すべての入力は大文字と小文字を区別します。

カメラを管理する : カメラの設定を変更するには、「Admin Menu」または「Setup Menu」で行います。

- **Admin Menu** : このメニューには、カメラの基本的な設定ダイアログ（パスワード、インターフェイス、ソフトウェアアップデートなど）があります。
- **Setup Menu** : このメニューには、画像、イベント、録画の各パラメーターを設定するダイアログが含まれています。これらの設定の一部は、ライブ画面で対応するクイックコントロールを使って変更できます。

NOTE :

詳しくは、カメラのリファレンスマニュアルをご覧ください。

メンテナンス

このセクションでは、以下の情報を提供します：

microSDカードの交換	58
カメラのクリーニング	59

microSDカードの交換

注意： microSDカードの取り出し、挿入、交換を行うには、カメラを分解する必要があります。microSDカードを取り外す前に、録画機能を停止してカメラを再起動してください。遵守しないとデータが消えることがあります。
microSDカードは書き込み禁止にしてください。
microSDカードを交換するときは、回路基板に触れないでください。

手順

1. **ストレージを無効にする：** microSDカードのストレージが有効になっている場合は、カメラのWebインターフェイスでストレージを無効にします。**Admin Menu > [画像ストレージ] > [外部ファイルサーバー/フラッシュデバイス]**を選択し、主なターゲットを"無効"にし、カメラを再起動してください。
2. **スクリューキャップを開けます：** 幅の広いドライバーを使って、カメラの背面にあるスクリューキャップ①を慎重に左に回して外します。



3. **microSDカードホルダーのロックを解除する：** microSDカードの金属カバー②を爪などで丁寧にめくります。



4. **microSDカードの取り外し**

5. **microSDカードを挿入します** : 新しいmicroSDカードをホルダーに挿入し、金属製のカバーを軽い力でカチッと音がするまで閉じます。
6. **スクリーキャップを閉じる** : スクリューキャップを再び挿入し、幅の広いドライバーを使って慎重に右に回します。
7. **ストレージを有効にする** : すでにMxFFSでフォーマットされたmicroSDカードが挿入されている場合、「Admin Menu」>「外部ファイルサーバー/フラッシュデバイスのストレージ」でストレージを有効にすることができます。カメラを再起動すると、自動的に録画が開始されます。

カメラのクリーニング

研磨剤の入っていないアルコールフリーの中性洗剤を使って、カメラハウジングの汚れを落とします。カメラの破損を防ぐために、付属の取り付け具を使用してください。（P.18「マウント用品：納入品目」参照）。

MOBOTIX

Beyond Human Vision

EN_12/21

MOBOTIX AG ・ Kaiserstrasse ・ D-67722 Langmeil ・ www.mobotix.com

MOBOTIXは、欧州連合、米国およびその他の国で登録されたMOBOTIX AGの商標です。予告なしに変更されることがあります。MOBOTIXは、ここに記載されている技術的または編集上の誤り、脱落に対して、いかなる責任も負いません。すべての著作権はMOBOTIXに帰属します。 © MOBOTIX AG 2019



KONICA MINOLTA

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング

URL : <https://businesssolution.konicaminolta.jp/business/products/mobotix/>

※ 本資料の掲載内容は予告無く変更することがあります。